

算 数

1 アンケート作成の趣旨

算数の学習に対する児童の意識と行動の実態を探るため、次のプロットを立て、アンケートを作成した。

(1) 算数のイメージ

算数の学習に対して、楽しさ、わかりやすさなど、児童がどのような教科イメージをもっているかについて探る。

(2) 算数の学習に対する好き嫌いとそのなった時期

児童にとって、算数の学習が好きか嫌いかを探る。また、いつ好き（嫌い）になったのか、その時期について探る。

(3) 算数のわかりにくい単元（学年別）

調査学年の1学期及び前学年の学習内容の中で、わかりにくかった単元名は何であるか、学年別に探る。

(4) 算数の学習に対する自主性、授業に対する期待など

授業中の意識として、わかるまでがんばろうとしたなどの自主性について探る。また、学習の進め方の速さなど、児童の学習に対する期待がどうかについて探る。

(5) 算数の授業中、授業後の学習行動

発表や質問などの授業中における学習行動の様子を探る。また、テストで間違えた時、やり直そうとするかどうかなど、児童の授業後の学習行動についても探る。

(6) 算数における児童が好きな学習形態

グループ学習やビデオなどを使った学習など、算数の学習における児童が好きな学習形態を探る。

(7) 算数の学び方に対する好き嫌い

ものを使って考えてみるなど、算数の学習の学び方に関する児童の受けとめ方を探る。

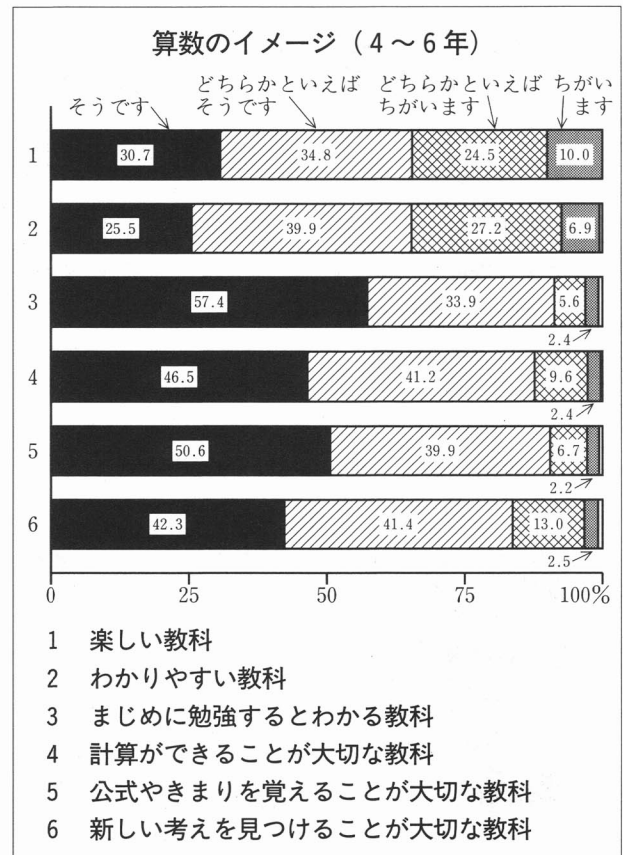
2 アンケートの結果と考察

(1) 算数のイメージ

① 調査結果

次のグラフは、算数のイメージについての調査結果である。

グラフ 1



② 考 察

「楽しい教科」「わかりやすい教科」の2項目は、「そうです」「どちらかといえばそうです」を合わせた肯定的な回答は、どちらも約65%である。「まじめに勉強するとわかる教科」「計算ができることが大切な教科」以下の4項目は、80%を超える児童が肯定的な回答をしている。これらは、いずれも学習する意義や大切さを問うものである。

また、「新しい考えを見つけることが大切な教科」の問いにおいても、83.7%の児童が肯定的な回答をしていることは、注目してよいであろう。